



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市西総合スポーツセンター
 試合区分：成年女子 3回戦
 開催期日：2009年10月4日(日)
 開始時間：11:45

GAME No. 1004B2

主審：丸山 大
 副審：川井 文明

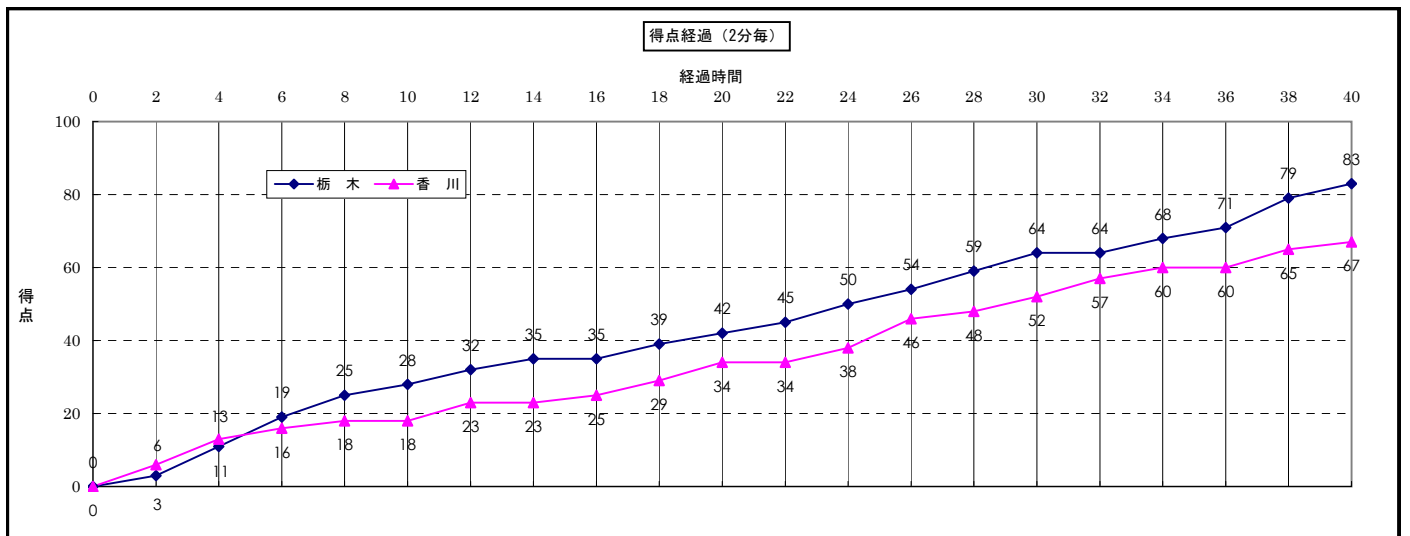
Team A	○	28 -1st- 18 14 -2nd- 16 22 -3rd- 18 19 -4th- 15	●	Team B
栃木	83		67	香川

TEAM A		栃木					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		藤井 美紀	4	0	0	4	3
5		田中 亜季	6	2	0	0	1
6		柚木 恵子	-	-	-	-	-
7	*	柴原 麻理恵	2	0	1	0	4
8	*	牧原 小枝	20	5	2	1	1
9	*	永野 友香里	8	0	4	0	2
10		久谷 央	2	0	1	0	3
11	*	宮崎 優子	15	3	3	0	0
12	*	上原 希莉子	11	3	1	0	2
13		明智 令育	4	0	2	0	1
14		塚田 麻衣	11	1	4	0	0
15							
Coach		佐藤 智信					0
TOTAL			83	14	18	5	17

TEAM B		香川					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		福家 未奈	-	-	-	-	-
5	*	井上 望	20	0	6	8	3
6		大林 裕子	-	-	-	-	-
7		三井 紗弥香	0	0	0	0	0
8	*	松井 恵利納	14	0	6	2	0
9		中川 みどり	-	-	-	-	-
10		安部 友美	-	-	-	-	-
11	*	東原 綾那	6	2	0	0	2
12		三谷 彩	0	0	0	0	0
13	*	井上 愛	21	4	3	3	4
14	*	宮崎 成美	6	0	3	0	0
15							
Coach		井上 晃					0
TOTAL			67	6	18	13	9

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	16:08	-	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	8:39	13:26	-	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q 栃木は立ち上がり緊張から動きに硬さが見られ、ミスの連続からシュートが決まらない。#11宮崎のシュートにとどまる。香川は#5井上(望)のインサイドプレーから持ち味を生かしたバスケットを展開。栃木は出足の速いディフェンスからガード陣が前から当たりを強くし、インサイドを固めることで、香川に本来のプレーをさせない。香川は#8松井、#13井上(愛)を中心に攻めるが、リズムが単調になり、シュートが決まらない。結局28-18の10点差で終了。

2Q 1Qに引き続き2つのミスからスタートすることとなった栃木に対して、香川は巻き返しを狙って2-3ゾーンを仕掛ける。動きが止められた栃木は、相手のゾーンを攻めあぐねるというわけではないが、#5田中、#8牧原、#11宮崎のアウトサイドからの単発な3Pのみで決定打に欠ける。また、一方の香川もゾーンが功を奏してはいるものの、相手の当たりの強いディフェンスに翻弄され、シュートを打てども入らない。両チーム合わせて約4分間ノーゴール。残り3分、香川は相手のタイムアウトを契機にプレスを仕掛け、終了間際42-34と8点まで追いすがる。

3Q ゲームの流れが香川に傾きつつある中で迎えた後半は、両ベンチともゲームを考え、仕切り直しを意識させてスタート。一進一退の我慢のバスケットが続く。しかし、疲れの色は隠せず、両チームともターンオーバーの連続。そんな中栃木は#14塚田を、香川は#13井上(愛)を中心にオフenseを組み立てる。2Qからの差は広がり、64-52の12点差。

4Q 栃木は2-3ゾーンに対して冷静なゲームメイクを持って4Qに臨んだ。2Qからの一進一退の状況に変わりはない。香川が最後の意地を見せて、#13井上(愛)の3Pで応戦。残り7分64-58の6点差まで追い詰める。しかし、地力に勝る栃木は強い当たりのディフェンスを徹底することで、主導権を取り続けた。ゲームが動いたのは残り4分。最後は、栃木#5田中、#8牧原の3連続3Pで勝負の大勢を決した。香川は、最後まであきらめない姿勢を貫いたが、流れを取り戻せなかった。

記載責任者 猪股 正司 (所属) 新潟県バスケットボール協会